

安心感地域 No.1を目指します!!



10 2023
October

Vol. 307

JAIは<I

かけはし



HP



Instagram



LINE

余喜保育所の園児がバケツ稲を収穫しました(羽咋市大町)



おにぎりを受け取る生徒(羽咋工業高校)

J Aグループでは、直売所のさらなる活性化を目的として、10月2日を『直売所の日』に制定しています。「採れ(10) たてに(2) 会おう」の語呂合わせなどによるものです。

J Aグループ石川は今年度、県内15 J Aの統一活動として、県産の新米おにぎりをJ Aの直売所や学校で配布。国消国産や地産地消、米消費拡大をPRしました。

『直売所の日』国消国産PR

羽咋工業高校生に「ひやくまん穀」おにぎり贈る

J Aはくいは10月3日、羽咋工業高校の全校生徒318人におにぎりを配りました。10月2日を「直売所の日」と定めて、国消国産や地産地消を推進する県内統一活動の一環。J Aの役員と女性部役員ら10人が各クラスを訪ね、県産米「ひやくまん穀」を使った新米おにぎりと、啓発チラシ入りのポケットティッシュを生徒の代表に手渡しました。

デザインコースの3年生が今年、J Aグリーンはくいの壁面パネルを制作した縁。J Aの山本好和組合長は感謝を伝え、「お米をもっと食べて」と呼び掛けました。J A女性部の宮崎禮子部長は「朝ごはんをしっかりと食べて、頑張ってほしい」と励ましました。



生徒らが手がけたJ Aグリーンはくいの壁面パネル(今年6月 感謝状贈呈式の様子)



ぜひみなさん食べてみてください！！

生徒が制作した動画の一場面

宝達高校 家庭部の生徒
特産イチジク 応援動画を制作

宝達高校家庭部が、宝達志水町の特産であるイチジクの応援動画を制作しました。知名度

アップや販売促進に貢献し、生産者や地域の方々に喜んでほしいといった目的があります。応援動画には、生徒が畑を見学する様子や生産者へのインタビューが1分半に収められています。J Aはくい押水いちじく部会が協力し、イチジクを甘く育てる工夫について、「手を掛けて育てています。イチジクは肥料を食うので、月に一度は追肥をします」と紹介しました。

動画を見られるQRコード付きのPRカードも作成し、J Aグリーンはくいや町内のスパーに設置されました。



／動画公開中／

イチジク応援動画とPRカードが完成

動画撮影とPRカード作成を担当。カードを手にとってもらえるよう、色やフォントサイズを工夫しました。農園を見学した日は、とても暑い日で、「こんな中で日々、手入れをしているんだ…」と、改めて感じたことが印象に残っています。

町内の人だけでなく、多くの方に知ってもらい、イチジクを食べてもらいたいです。

生産者の丁寧な手入れの様子を取材し、動画にまとめる作業を担当しました。イチジクの良さを伝えられるよう、事前に質問を準備してインタビューに臨みましたが、見学を通して、その場で臨機応変に対話するのが難しかったです。

この経験をいかして、他の特産品もPRしていけたらいいなと思っています。

2年 松永心奈さん

2年 杉枝 颯さん



QRコード入りのPRカードとポップも作りました



あいさつする稲垣部会長(営農センター)

J Aはくい押水花木部会 市場との意見交換会

J Aはくい押水花木部会は9月29日、市場との意見交換会を営農センターで行いました。大阪や京都、

金沢の計4市場の担当者らが訪れ、生産者13人とJ A役職員が参加しました。

初開催となった昨年度の意見交換会で、市場関係者から「短い枝や二股の枝も需要がある」と聞き、これまで出荷に至らなかったショートサイズなどの商品化を実現。農家所得向上につながっています。

稲垣稔博部会長は「気候変動や土壌への適応を考えながら試行して、今後の産地づくりにつなげていきたい」とあいさつ。各市場の出荷実績データや流行から、新たに産地化できるような作物はないかなど意見を交わしました。

市場の担当者は「規格外品でもニーズにハマれば売れる。販売強化に向けて、産地との情報共有を密にしていきたい」と呼び掛けました。



県議らを前にあいさつする山本組会長(営農センター)



モデル地区の圃場を視察(宝達志水町吉野屋)

石川県議会農業研究会が来訪 トキ放鳥に向けた取り組み視察

石川県議会農業研究会の県議ら約50人が9月8日、トキ放鳥に向けたモデル地区の取り組みの現地視察として、宝達志水町吉野屋地区の圃場とJ Aはくい営農センターを訪れました。

石川県では10月から、公立の全小中学校に、特別栽培米を提供する事業が始まります。

山本好和組会長は、「トキ放鳥のストーリーに絡めながら、高い評価を得る米づくりを目指して、生産者や地域と一体となって取り組みたい」と語りました。

今年度は、各校5日間を目安に実施されます。J Aはくいでは、トキ放鳥モデル地区で生産された米を市町へ提供し、石川の将来を担う子どもたちに、環境にやさしい米づくりの意義や重要性について、理解を深めてもらいたいと考えています。

J Aやすらぎ会館 天照

11/6(月)~7(火)

改装の為 **臨時休業**

いたします

【お問合せ】

J Aサービス ☎26-3330

J Aはくい共済友の会 懇親会のご案内

会員相互の親睦を深めるために次のとおり懇親会を開催いたします。

日 時：11月13日(月)~14日(火)【1泊2日】

ご 宿 泊：和倉温泉 海望

参 加 費：お一人様 10,000円

対 象 者：J Aはくい共済友の会 会員に限ります

募集人員：50名(定員になり次第、締め切ります)

申込締切：10月27日(金)

【お問合せ】共済課 ☎26-3535

JAはくい NEWS



はくい三銃士

羽咋神社に伝わる「怪鳥伝説」に登場する3匹の犬「シロ」「クロ」「プチ」をデザイン。村を荒らす怪鳥の羽を犬たちが食いちぎって倒したことから「羽咋」という地名がついたとされています。

1 JAはくいハトムギ部会 ハトムギ収穫 茶や焼酎に

ハトムギの収穫が10月2日から始まりました。収穫作業を受託するJAアグリはくいが、品種「あきしずく」を大型の汎用コンバインで刈り取り、乾燥調製を行います。作業は、10月下旬まで続きます。

JAはくいハトムギ部会は今年、宝達志水町と羽咋市の生産者10戸が9.4ヘクタールで作付け。70アールで栽培する中橋義雄さんは「収穫時期は例年よりちよっと早い、出来は平年並みだろう」と話しました。

収穫されたハトムギは、JAのオリジナル商品「能登まるご」とはむぎ茶（ペットボトル、ティーバッグ）



収穫が始まったハトムギ(宝達志水町荻市)

その他、丸ごと焙煎して粉末にした全粒粉「まるごとはむぎ」、化粧水や焼酎などの原料となります。

2

JAはくい押水花木部会 サンゴミズキ 出荷始まる

JAはくい押水花木部会は9月28日、サンゴミズキの中生品種「はくいレッド」の出荷をスタート。猛暑の影響か、昨年に比べ10日ほど早い出荷となりました。



「はくいレッド」の初出荷

寒くなると枝が赤く色付く落葉低木で、初日は木村亮介副部会長が10ケース（120cm・100本入り）を出荷。「品質のいい枝に仕上がった」と話しました。

この時期は、秋の花材として生け花を彩ります。

11月上旬までに7戸が、昨年並みの8万本を、大阪や京都の市場に向けて出荷します。

3

JAはくい押水いちじく部会 黒蜜姫 東京の青果店でPR

JAはくい押水いちじく部会は9月20日、東京のフルーツ専門店「新宿高野」のフルーツサロンで、黒イチジク「黒蜜姫」の試食会を開催しました。松浦尚輝部会長らが産地の取り組みを紹介し、「蜜を多く含み、とても甘くておいしい」と伝えました。



「黒蜜姫」の魅力に参加者に伝える松浦部会長

4 宝浪漫マラソン2023 特産品でランナーを応援！

宝達志水町で9月24日、「宝浪漫マラソン2023」が開催されました。白虎山の給水所では、宝達支店の職員もボランティアとして参加。町特産の黒イチジク「黒蜜姫」やシャインマスカットがランナーに喜ばれました。



地元特産のイチジクやブドウで一息

笑顔のランナーたち

JAはくいそさい部会は10月2日、能登だいこんの出荷に向けた現地巡回を行いました。

生産者や市場関係者が参加して各圃場で試し掘りを行い、生育状況を確認。その後の出荷会議で、今シーズンの初出荷を10月6日に決めました。

6 JAはくいそさい部会 能登だいこん 圃場巡回

部会では、スイカの後作として、9戸が約14ヘクタールで能登だいこんを生産しており、主に関西市場に向けて出荷されます。

猛暑の影響が心配されましたが、生産者が灌水等の管理に努めたことで順調に肥大しました。出荷は、11月上旬まで続きます。



指導員らが試し掘りを行った(羽咋市粟生町)

JAはくい女性部 女性センターフェスティバルで おにぎりやイチジク販売

JAはくい女性部は9月30日、女性センターフェスティバルで、押水いちじくや神子原米おにぎり、クッキーなどの手作り加工品を販売し、産地をPRしました。



羽咋の特産品をPR(金沢市)

5 JAはくい女性部「家の光学習会」 食品表示ラベルの達人になろう



JAはくい女性部は9月21日、家の光学習会「食品表示ラベルの達人になろう」を宝達支店と本店で開き、計45人が参加しました。

安全安心な食について考える参加者(JA本店)

家の光9月号をテキストに、加工食品などのラベルに書かれている食品添加物にどんな成分が含まれているかなど、安全な食品を選ぶための正しい読み方を学びました。

佐川啓太さんが講師を務め「新制度に移行して表示方法が変わったものもある。最新情報の確認が必要」と呼び掛けました。



JAはくい女性部 活動のご案内

エコープマーク品講習会 愛情いっぱい！お料理講習会

羽咋	10/19(木)	時間：13時30分～15時 会場：JA本店 大会議室
宝達	10/20(金)	時間：13時30分～15時 会場：JA宝達支店 2階

- 内容 エコープマーク品の紹介とレシピ提案 ※調理実習はありません。試食をご用意します。
- 講師 大興産業 大山 一男さん(らっきょう酢 他)
厚生産業 浅田 哲也さん(漬物の素 他)
藤井養蜂場 小笠原茂樹さん(はちみつ)
- 参加費 無料 ※JA女性部以外の方で参加希望の方は、年会費500円をお納めいただきます。
- 申込期日 10月18日(水) ※定員：各30名
- 申込受付 JA女性部役員または事務局まで

フレッシュミズ世代対象 鹿島路りんご収穫体験

11/23(木・祝) 9時30分～11時

- 場所 松生幸二さんのりんご園
※乗り合わせ、または連なって向かう場合は、JA本店に9時集合、11時30分帰着予定。
- 対象 JAはくい管内に在住または在勤の概ね20～40代の女性(お子さま連れ可)
- 定員 15組(予約制先着)
- 参加費 JA女性部の方 1,000円
JA女性部以外 1,500円(年会費込み)
- 申込期日 10月31日(木)
- 申込受付 JA女性部役員または事務局まで

【お問合せ・お申込み】
事務局 CS推進室 ☎26-3301
※当JA管内の方で、お住まいの地域に班がない方などは、「個人会員」としてご加入いただけます。(年会費 500円)



西北台小学校

羽咋支店行動計画

西北台小学校の5年生7人は9月12日、学校近くの松田久さんの田んぼで、能登米「コシヒカリ」を収穫。慣れない鎌を手に、黄金色に色付いた稲をザクザクと刈り取っていました。収穫した米は、家庭の授業で炊飯する予定で、児童は「食べるのが楽しみ」と話しました。



とき保育園

羽咋支店行動計画

とき保育園の年長6人は8月22日、園近くで「ハナエチゼン」の稲刈りを体験。田んぼを提供する(有)ながせの長瀬明さんやJA職員に付き添われながら稲刈りを楽しみました。体験した園児は「刈る時にザクッと音がして楽しかった」「食べるのが楽しみ」と話しました。



稲刈り体験

こすもす保育園

羽咋支店行動計画・邑知潟水土里ネットワーク

こすもす保育園の年長組は9月4日、園近くの渡勝己さんの田んぼで「コシヒカリ」を収穫しました。コロナ禍を経て4年振りの開催。年中以下の園児や保護者も応援に駆け付けました。

体験した西村佳乃ちゃんは「切るところが楽しかった」と喜んでいました。一緒に参加した母親の西村唯歌さんは「力強く稲を刈る姿に、子どもたちの成長を感じる事ができた」と話しました。



邑知小学校

いしかわ田んぼの学校推進プロジェクト

邑知小学校の5年生は10月3日、農事組合法人アグリスターオナガの田んぼで「ひやくまん穀」の稲刈りを行いました。初めて体験した福田龍生さんは「鎌を勢いよく手前に引くと、ザクッと上手く刈れた」と、コツを発見。収穫した米を調理して、感謝の会を開く予定です。



相見小学校

いしかわ田んぼの学校推進プロジェクト

相見小学校の5年生は9月13日と14日に、学校近くの田んぼで「コシヒカリ」の抜き穂を体験。となりあわせに植えた古代米「赤米」「緑米」の稲穂との色の違いを楽しみながら一本ずつ抜き取り、収穫の喜びを味わいました。古代米は10月に収穫します。

蠍座
10/24~11/22

【全体運】リーダーシップを発揮して、少しせっかちになりがちなき。周りの話を聞き歩調を合わせればスムーズに進みます

天秤座
9/23~10/23

【全体運】人気運が良好。あなたの周りに自然と人が集まってきます。食事の時間に愚痴は控えて。楽しく食べて円満に

2023JAはくい
農機・自動車フェア
JAグリーン秋の収穫祭り

日時 **10月21日(土) 9:00 ~ 15:30**

22日(日) 9:00 ~ 15:30

※JAグリーンは両日も17:00まで営業

場所 **JAはくい本店**

※詳しくは、10月中旬に配布予定の新聞折込みチラシ
または、店頭にてご確認ください。

《お詫び》 9月号にて「秋の収穫感謝祭」を開催するとご案内しましたが、新型コロナウイルスの流行再拡大を考慮し、上記日程で「農機・自動車フェア&JAグリーン秋の収穫祭り」として開催します。ステージイベントはございません。

第17回農産物品評会

あなたの自慢の農産物を出品しませんか？
各賞のほか、出品された方全員に参加賞をご用意しております。ご応募をお待ちしております！

【出品方法】

- 参加申込期限：10月17日(火)まで
- 持込受付日時：10月19日(木)～20日(金)
午前9時～午後5時
- 持込場所：JAはくい営農センター

区分	数量	適用
玄米	300g	コシヒカリ・ゆめみづほ 他
雑穀類	2合	大豆・小豆・芋類 他
野菜類	3本	大根・白菜・ねぎ 他
果樹類	5個	柿・リンゴ・イチジク 他
花卉・花木	5本	切り花・切り枝 他
菌茸類	5個	しいたけ 他

※出品物は品評会会場にて10月22日(日)に購入希望者による入札を行い、売上金は福祉機関へ寄付いたします。

【お問合せ・お申込み】園芸課 ☎29-3155

JAやすらぎ会館 天照

人形供養祭



- 日時：**10月21日(土)** 午前10時開式
- 受付：10月21日(土) 午前9時～午前10時
- 供養料：・会員および会員家族の方は無料
・非会員の方は、供養料1,000円または1,000円の入会金で会員になると無料

【お問合せ】JAサービス ☎26-3330



西北台保育所

JAはくい女性部「バケツ稲づくり」

西北台保育所は9月14日、年長・年中・年少の園児がバケツで育てた「コシヒカリ」を刈り取りました。園児らは「お米が元気に育つのが楽しみながら育てた」といいます。夏の間成長して、穂が出てきたときはみんなで喜んでそうです。脱穀・粃すりにも挑戦します。



余喜保育所

JAはくい女性部「バケツ稲づくり」

余喜保育所の年長・年中・年少は9月7日、みごとに育てたバケツ稲の「コシヒカリ」を収穫しました。JAはくい女性部の宮崎禮子部長らに付き添われながら、鎌で上手に稲を刈り、束ねて、はざ干しまで体験。園児は「ちょっと難しかったけど楽しかった」と話しました。



JAたんぼぼ デイサービスセンター

JAはくいが運営するJAたんぼぼデイサービスセンターでは9月9日に、バケツ稲を収穫しました。黄金色に実った「コシヒカリ」を、利用者が鎌を使って丁寧に刈り取りました。2006年から続く

恒例行事。体験した利用者は「久しぶりに稲を刈って楽しかった」喜んでいました。

JAの自動車共済

必ず もらえる!

お見積りキャンペーン!!



JA共済のお見積りを
するだけで、もれなく

洗濯洗剤

「ジェルボール」
をプレゼント!

※数に限りがありますので、なくなり次第終了とさせていただきます。
※写真はイメージです。実物とデザイン等が異なる場合があります。

期 間

2023年 10月2日(月) ~ 2023年 12月28日(木)

対 象 者

JAの自動車共済に加入していない車両の所有者(他社に加入されている方)で、JAの自動車共済のお見積りをいただいた方

応募方法

お見積りに必要な **車検証** と **現在ご加入の自動車保険証券** を
ご用意いただき、JA職員にお渡しいただくか、窓口までお越しください。

- ご提供いただいた個人情報は、JA・JA共済連の事業および各種サービスのご提供・ご案内・充実等の目的以外には利用いたしません。また、JA共済は「個人情報保護方針」を定め、個人情報の保護に努めております。
- 当キャンペーンにご応募いただいた場合であっても、法令等によりJA共済にご加入いただけない場合がございます。

【問い合わせ先】

宝達支店 ☎29-3133

羽咋支店 ☎26-0008



魚 座
2/19~3/20

【全体運】 努力の結果が出てやりがいを感じられそう。
1人では難しいことも仲間と協力して大成功。宴席や旅行も幸運の兆し

水瓶座
1/20~2/18

【全体運】 周囲からの注目度がアップ。良いことも悪いことも目立つので自分を律して。人に配慮すると状況は好転へ

のと里山自然栽培

のと里山農業塾 研修農場

星稜中1年生が農業体験

星稜中学校の1年生91人が9月7日、のと里山農業塾の研修農場で体験授業を行いました。土の中の微生物の働きなど、自然栽培についてJA職員から話を聞いた後、ダイコンの種まきを体験。スイカを試食しました。



ダイコンの播種を体験する生徒(羽咋市中川町)



自然栽培米を刈り取る新田部会長(羽咋市鹿島路町)

JAはくいのと里山自然栽培部会

令和5年産 自然栽培米 収穫迎える

のと里山自然栽培部会による肥料や農薬、除草剤を使わない自然栽培米の収穫が9月19日に始まりました。羽咋市と宝達志水町の13戸が約20haで生産しており、ふるさと納税の返礼品などになります。収穫は、10月上旬まで続きました。新田聡部会長は「猛暑の影響が出ないように水管理に気を付けた。収量が見込める田んぼもありそうだ」と期待します。

JAたんぼぼデイサービスセンター 芋のつるの皮むき



芋のつるの皮むきも、みんなでやればあっという間だよ。

多機能ホームJAたんぼぼ ご飯作りをお手伝い



野菜の下ごしらえや味付け等、できることはみんなで協力！

羽咋市デイサービスセンター いろはかるたで熱戦！



畳の上で「いろはかるた」を楽しみました。大盛り上がり♪

JAたんぼぼデイサービスセンター お友だちと仲良くお話し



仲の良いお友だち。いつも話を聞いてくれてありがとう♥

多機能ホームJAたんぼぼ 体操も頑張っています



健やかな日々を送るには運動も大事！がんばっています。

羽咋市デイサービスセンター 紙粘土できのこ



紙ねんどで秋の味覚「きのこ」を制作。上手にできましたよ！

たんぼぼ通信

敬老の日 長寿祝う

JAたんぼぼデイサービスセンターでは、着物に着替えていただき、みんなでカラオケ大会を楽しみました。



明るい歌声が響きました

多機能ホームJAたんぼぼでは、感謝を込めた御膳で長寿をお祝いしました。



赤飯や天ぷらのお祝い御膳に舌鼓

JAたんぼぼデイサービスセンター
多機能ホームJAたんぼぼ

福祉部門の『介護職』を募集しています！

「あなたの力」で、みんなを笑顔にしてみませんか！

【お問合せ】福祉ふれあい課

多機能ホームJAたんぼぼ ☎29-2880

LINE友だち限定

太田SS/R159SS

10月クーポン

火曜日限定

ガソリン 軽油

5円/ℓ引き

※現金・クレジットカード、掛けカード、QR決済、プリカでのお支払いのみ対象となります。※他の値引き券との併用はできません。

お友だち追加で
割引クーポンを配信します



- ・クーポンは前日(月曜日)17時に配信予定です。
- ・クーポンを読み取り機にかざしてください。

お知らせ

農業用廃プラスチック類収集 不要農薬の回収のご案内

野焼きや不法投棄は法律で罰せられますので、正しい処理で清潔な環境を保つために、JAが収集(回収)処理します。申込書に必要事項をご記入の上、下記収集(回収)場所にご持参ください。

日時：**11月1日(水)** 午前8時30分～正午

農業用廃プラスチック類収集

収集場所：カントリーエレベーター前（羽咋市深江町ト25）

対象品目：農ポリ、ハウスビニール、マルチ類、肥料袋
農薬の空容器、育苗箱

★育苗箱の処分を予定される方は、事前に箱数をご連絡ください。

処理料金：85円/kg（最低基本料金425円）※税込参考料金

不要農薬回収

回収場所：北部育苗センター（カントリーエレベーター横）

処理料金：・一般農薬 550円/kg
・不明農薬 800円/kg
・くん蒸剤 3,400円/kg ※税込参考料金

申込締切：10月24日(火)

※当日は、**印鑑**をご持参ください。

※処理料金は、後日請求させていただきます。

※収集・回収の詳細チラシ兼申込書は、本店 経済課・営農センター・JAグリーンはくい・アグリショップ宝達に設置してございます。

【お問合せ】 経済課 ☎26-3339

JAの灯油配送サービス

太田給油所・JAルート159給油所にて
灯油配送を承ります。ご利用ください。

配達日：月～金(祝祭日を除く)



【お問合せ】

太田給油所 ☎26-1177
R159給油所 ☎29-2189

図1 畑の準備(1)



図2 畑の準備(2)

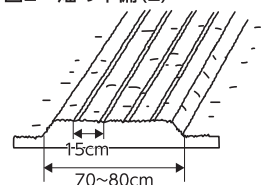


図3 トンネルの被覆

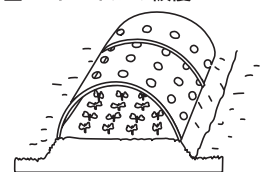


図4 間引き(最終)



【種まき】種が重ならないように1cmくらいの間隔でまき、土を軽くかぶせておきます。

【種まき】種が重ならないように1cmくらいの間隔でまき、土を軽くかぶせておきます。

※関東南部以西の平たん地を基準とする。

【種まき】種が重ならないように1cmくらいの間隔でまき、土を軽くかぶせておきます。

【種まき】種が重ならないように1cmくらいの間隔でまき、土を軽くかぶせておきます。

小松菜のトンネル栽培について

あなたもチャレンジ！ 家庭菜園

園芸研究家 成松 次郎

【栽培期間】種まきはトンネルやべたがけ資材で保温し、60～90日で収穫できます。中間地ではほぼ通年栽培ができ、草丈20～25cmを目標に、春まきは30～50日、夏まきは20～25日、秋まきは30～60日で収穫できます。生育が早く収穫遅れになりやすいため、1週間置きに少しずつまき、長く収穫を楽しむのが良いでしょう。

【畑の準備】種まき2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gをまいて畑をよく耕し、1週間前に化成肥料(NPK各成分10%)100gと堆肥2、3kgを施し、土とよく混ぜておきます(図1)。幅70～80cmの栽培床を作り、畝に平行に条間15cm程度の種まき溝を切ります。このとき、まき溝は支柱や木板を土に押し付け、溝を付けると深さが一定になります(図2)。

【種まき】種が重ならないように1cmくらいの間隔でまき、土を軽くかぶせておきます。

【トンネルの被覆】トンネルの被覆と管理】資材は穴のないフィルムでは裾を大きく開けたり、開ける穴の数を増やしたりして、春に向けて徐々に換気量を増やします。有孔フィルムを使用すれば日中の高温は防げます(図3)。トンネル内をさらにべたがけ資材で被覆すれば厳寒期の霜害予防になります。

【間引き】初めは本葉が見える頃に子葉の重なっているところを間引きます。その後、葉が触れ合う程度に間引き、最後に5、6cm程度にします(図4)。

【病害虫の防除】害虫の発生は少なく、病気では白さび病が発生したときは、ダコニール1000などの農薬で防除します。生育期間が短いので、農薬の使用は生育初期に限ります。

【収穫】草丈20～25cm程度で根を付けて抜き取り収穫します。外葉から必要なだけかき取れば、長期に収穫できます。

まちがい探し

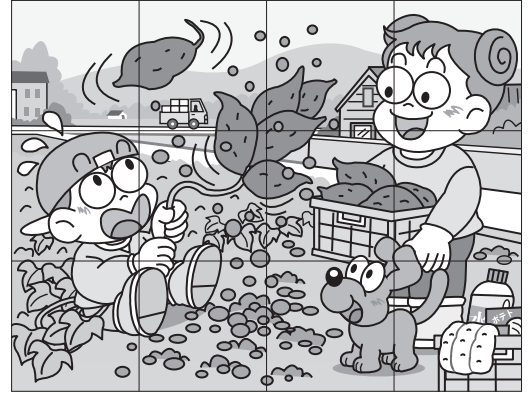
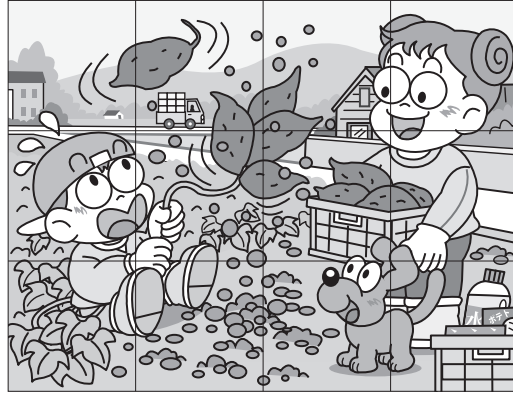
今回の賞品



JAグリーンはくいの商品券
1000円分(抽選で10名様)

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。
間違っている部分を下のイラストの中の数字でお書きください。

見つけて
スッキリ!



先月号(9月号)の答え

- 2 ... からあげの大きさ
- 5 ... 帽子のつばのかたち
- 9 ... ストロウが真っすぐ
- 11 ... おにぎりが1つかじられている
- 12 ... トマトがブロッコリーになっている

応募方法

ハガキに ①答え(5カ所の番号) ②住所・氏名・年齢・職業・電話番号 ③ご意見・ご感想・身近な話題などを添えてご応募下さい。

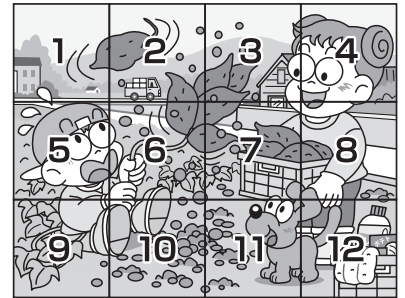
- 宛 先 / 〒925-8588 羽咋市太田町と105 JAはくい本店 広報担当
- 応募締切 / 10月31日(火) 当日消印有効

☆郵送または、最寄りの支店にご持参ください。

※ご応募いただいたお客様の情報は、抽選及び発送の目的以外には利用いたしません。
※ご意見やイラストは誌面で紹介する場合がございます。

9月号のご応募ありがとうございました。(応募59通)

本庄 幸美様 干場 直子様 池田 恭子様 濱下 静香様 中村 孝子様
田中外美江様 山本外代美様 高見ますほ様 山下 達士様 岩城 睦子様



理事会だより

第7回理事会

9月27日(水)
JAはくい本店 大会議室

<議案>

- (1) 「当組合における取引のリスク評価書(特定事業者作成書面等)」の定例改正について
- (2) 内部統制システム基本方針の改定について
- (3) マネー・ローンダリング等および反社会的勢力等への対応に関する基本方針の改正について
- (4) 貸出金利率等の一部変更について
- (5) 理事が組合と契約する貸出について
- (6) 組合員の出資口数の減少について

<報告>

- (1) 組合員の加入及び脱退について
- (2) JAバンクの内部管理態勢構築にかかる指針の制定について
- (3) 令和5年度JA共済コンプライアンス点検結果および改善方針の概要について
- (4) 実績報告等(金融・共済部門)について
- (5) 実績報告等(営農部門)について
- (6) 実績報告等(経済部門)について
- (7) 実績報告等(福祉部門)について
- (8) 実績報告等(総務部門)について
- (8) ㈱JAサービス営業報告について
- (10) ㈱JAアグリはくい営業報告について

編集後記

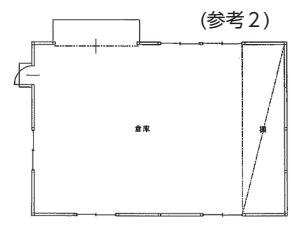
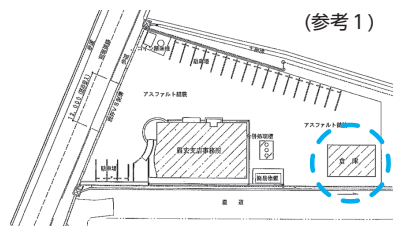
宝達高校家庭部のみなさんが、イチジク農家取材し、応援動画を制作してくれました。しっかり事前準備をして臨んだという話を聞いて、私も初心にかえって頑張らなければと反省。SNSなどで動画配信を行っているJAも増えており、若者から学びたいと思います。(坂元)

旧眉丈支店「倉庫」の賃貸募集について

標記の倉庫について、次のとおり賃貸先の募集を行います。

1. 倉庫の概要

- ・所在地：羽咋市柳田町3-1ほか
- ・構造：木造瓦葺平屋建て(H15年築)
- ・面積：79.50平方メートル



2. 賃貸内容

- ・賃貸先：当JAの組合員(法人含む)
※ただし、JA事業と競合しない方
- ・賃貸期間：令和5年12月1日から1年間
※双方の申し出がなければ自動更新とする
- ・賃料等：40,000円/月(税別)、敷金80,000円
〔組合員価格〕

3. 募集内容

- ・募集期間：10月25日(水)～11月10日(金)
- ・お申込先：JAはくい 総務部 企画管理課
お問合せ先 ☎26-3301
- ・その他：お申込みが多数の場合は、JAの審査により決定いたします。

10月は“新米フェア”第2弾!! JAグリーンはくい

「能登米コシヒカリ」など

新米試食会で店頭精米PR

JAグリーンはくいで9月16日から3日間、「新米フェア」を開催し、多くの家族連れで賑わいました。

地元産米のPRとして、能登地区のJAが取り組むエコ栽培の「能登米コシヒカリ」と、「ゆめみづほ」の新米試食会を行い、来店客に食べ比べしてもらいました。試

食した人は「やっぱり新米はいいね」「甘みがあるし、もちっとしておいしい」などと話し、2品種の味比べを楽しんでいました。

10月は「新米フェア第2弾」として、LINE友だち限定「店頭精米20円/kg引きクーポン」を配信中です。ぜひ、この機会に店頭精米コーナーをご利用ください。



新米を試食する買い物客(JAグリーンはくい)

かぼちゃの重量当てクイズ

ご応募ありがとうございました

JAグリーンはくいの店頭で9月1日から1カ月間、かぼちゃの重量当てクイズを実施し、375名の方にご応募いただきました。たくさんのご参加、ありがとうございました。

正解は27・77kgで、答えが近い3名の方に「能登まるごとはとむぎ茶」(ペットボトル)1ケースを贈りました。



驚くほど大きいかぼちゃ (JAグリーンはくい)

10月は毎日

LINE友だち限定
JAグリーンはくい
店頭精米

20円/kg引き

※10kg以上購入で
店頭精米の注文時にLINEのクーポン画面をご提示ください

LINE

最新情報やお得なクーポンを
「LINE」でお届けします!

2023/10/31 18:00 まで

JAグリーンおすすめレシピ

エコープほめられ黒酢で 和風ほめられ黒酢豚

■材料(4人分)

豚肩ロース……………320g	★調味料
(塩・こしょう・片栗粉・油 … 少々)	ほめられ黒酢…90cc
玉ねぎ……………1個	しょうゆ……………大さじ2
しいたけ……………4枚	☆水溶性片栗粉
ピーマン……………4個	しょうが……………1片
にんじん……………1本	ごま油……………大さじ2
	片栗粉……………小さじ2
	水……………小さじ4

■作り方

- (1) 豚肉は厚さ1cm、幅2cmに切り、塩・こしょう、片栗粉、油をもみこむ。玉ねぎは、くし形切り。ピーマンは種を取り除き、乱切り。にんじんは乱切りにし、ラップをふんわりかけ、電子レンジ600Wで1分30秒加熱する。しいたけは軸を取り除き、4等分に切る。しょうがは千切り。
- (2) フライパンにごま油を入れて熱し、しょうがを加えて香りが出てきたら豚肉を入れ、ほぐしながら炒める。
- (3) (2)に玉ねぎ、ピーマン、にんじん、しいたけを加えて炒め、火が通ったら★調味料を回し入れてひと混ぜする。
- (4) (3)に☆水溶性片栗粉を加え、とろみが出たら火を止める。



28土~31火 ★★

ハロウィンイベント

お子様には
お菓子プレゼント!!

先着100名様
ステキなプレゼント!!

1,000円(税込)以上購入の方